

藤沢市交通マスタープラン策定協議会 第5回協議会 議事要旨

- 日 時 : 平成 25 年 10 月 24 日 (木) 9:30~11:15
- 場 所 : 神奈川県藤沢合同庁舎 別棟会議室
- 出席者 : 委員 28 名 (五十音順・敬称略・下線は代理出席)

<u>荒川 義則</u>	<u>池田厚二郎</u>	市古 元臣	<u>榎本 考暁</u>	岡村 敏之	加藤 正美
<u>金子 健治</u>	川村 聖	岸井 隆幸	<u>黒田 聡</u>	<u>斉藤 勇</u>	志村 知昭
鈴木 隆夫	<u>清野 尚</u>	高橋 忠雄	高橋 信之	綱島 真人	<u>能勢 和彦</u>
<u>原 博文</u>	<u>樋口 雅浩</u>	<u>寶珠山正和</u>	三木 健明	村木 薫	<u>森 勝彦</u>
矢後 勇	山口 拓	山田 正文	山田 護		

- 次 第 : 1. 開会  
2. 議事  
(1) 藤沢市交通マスタープランの策定について  
(2) 自転車検討会の報告について  
3. その他
- 配付資料 : ・次第  
・委員名簿  
・出席者名簿  
・座席表  
・資料 1-1 藤沢市交通マスタープラン (素案)  
・資料 1-2 藤沢市交通マスタープラン (素案) ~概要版~  
・資料 1-3 第4回藤沢市交通マスタープラン策定協議会  
~意見の概要~  
・資料 1-4 第4回藤沢市交通マスタープラン策定協議会  
~意見と対応方針~  
・資料 1-5 交通マスタープラン庁内意見照会について (結果概要)  
・資料 2-1 (仮称) ふじさわサイクルプラン (素案)  
・資料 2-2 (仮称) ふじさわサイクルプラン (素案) ~概要版~  
・資料 2-3 意見照会での主な意見と第2回自転車検討会での指摘事項
- 傍聴者 : なし

## 1. 議事

### (1) 藤沢市交通マスタープランの策定について

【事務局】資料説明

【会長】

- ・本編（資料 1-1）に対して、概要版（資料 1-2）はどういった位置づけか。今日の会議で説明するためのものか？

【事務局】

- ・パブリックコメント（以下、パブコメ）や議会に諮る際など、今後の調整を行う中で、説明資料として使用するイメージである。

【A委員】

- ・P.47（資料 1-1）では将来の交通像と4つの基本方針が掲げられている。この基本方針がP.57（資料 1-1）に対応しているということだと思う。市町村レベルで策定する交通マスタープランとしては、将来の交通像は、移動の利便性だけを考えれば良いものではなく、安心・安全といった観点も重要であると思う。しかし、P.51～56 に目標として記載されている「最寄駅まで15分圏、藤沢駅まで30分圏、ICまで30分圏」は、主に基本方針1～3に対応するものであり、基本方針4に対応するような目標が無いという印象を持つ。将来交通像の目標の一つとして扱うべきではないか。特に災害への対応は、これから重要になるのではないか。

【事務局】

- ・ご指摘の通り、基本方針4に対応するものが含まれていない。これは、定量的に評価できる指標を絞り込むのが困難であるというのが一つの理由である。どういった目標を定めた方が良いかということを含めて議論させていただきたい。

【会長】

- ・基本方針4については、ユニバーサルデザインと防災対策の2つの観点がある。防災面については地域防災計画で既に取り上げられている目標もあるのではないか。

【事務局】

- ・地域防災計画では交通面からの議論はあまりされていない。しかし、交通面から見た安心・安全も重要な観点であり、特に災害への対応については、考えていくべき課題の一つだと思う。
- ・特に、緊急輸送や避難について考える必要がある。例えば、都市計画道路の整備を目標とする案もあるかもしれないが、道路整備は頻りに更新されにくいものであるため、評価指標としては適さないかもしれない。ご意見があれば伺いたい。

【会長】

- ・将来像の中に、防災関係も入れるということについて、対応を検討することにする。

**【B委員】**

- ・整理されている図や分析は基本的に平成 20 年や平成 22 年といった現状の値を元にして  
いる。将来像を考える際には、将来における数値を示す必要があるのではないかと  
思う。

**【事務局】**

- ・たとえば、資料 1-1 の P.30 や P.31 などでは、将来の値も示している。ご指摘を踏まえ、  
概要版（資料 1-2）の中にも、将来の見通しに関する内容を追加することを検討する。

**【C委員】**

- ・概要版（資料 1-2）の P.26 や P.27 では、各地域のことについて箇条書きでのみ整理され  
ている。パブコメを行う際に、概要版（資料 1-2）を用いて説明する予定と聞いたが、市  
民が最も興味があるのは自分の地域のことではないかと思う。そう考えると、概要版（資  
料 1-2）においても、各地域に関する記述をもう少し掘り下げるべきではないか。

**【事務局】**

- ・地域別の説明会には、本編（資料 1-1）も用いることを考えている。各地域の詳細な状況  
を確認しながら議論する予定である。パブコメについても、本編も対象とすることにな  
るかと思う。

**【会長】**

- ・概要版（資料 1-2）については、住民向け資料としては適切な情報が必ずしも網羅されて  
いないかもしれない。地域ごとに対応した資料を作成する予定ということか？

**【事務局】**

- ・本編（資料 1-1）における地域別の情報と概要版（資料 1-2）を上手く組み合わせつつ、  
各地域用の資料をもって説明していきたいと考えている。

**【D委員】**

- ・基本方針ごとに展開する交通施策が整理されているが、交通マスの目標年次を考えると、  
平成 42 年までにそれぞれを実施していくということであると思うが、交通施策ごとに 5  
年後、10 年後時点での状況を確認すると良いのではないかと。進捗管理を行うことで、ど  
こに力を入れていくべきかといった整理もしやすくなるかと思う。

**【事務局】**

- ・交通マスということで、大まかな目標として整理をしている。詳細については、来年度  
以降、都市交通戦略として整理していきたいと考えている。交通マスにおいても、時間  
軸がある程度わかるような情報を整理できれば良いと考えている。

**【会長】**

- ・都市交通戦略を定めるということだが、将来的なことを考えると財政計画との関係につ  
いても検討しなければならないのではないかと。

**【事務局】**

- ・ご指摘の通り、市の財政計画等も踏まえて実施していくことになるかと思う。

**【会長】**

- ・ 財政計画との関係から、どの施策をどの時期に実施することになるかというのも見えてくるのではないか。見直しの予定については、どのように考えているか。

**【事務局】**

- ・ 10年後を見据えながら、5年ごとに見直し、中間報告をしていく形になるかと思う。

**【会長】**

- ・ 見直しに際しては、国や県にお願いする事項もあると思うので、その状況も踏まえながら、検討を進めていければ良いと思う。

**【E委員】**

- ・ P.2（資料 1-1）に、かながわ都市マスタープランについて記載があるが、交通マスとの関係はどのようになっているか。整合性はとれているのか。
- ・ P.53（資料 1-1）に、都市拠点まで 30 分圏の地域について整理されている。前回は、辻堂駅や湘南台駅も対象となっていたが、なぜ藤沢駅だけに絞ったのか。

**【事務局】**

- ・ かながわ都市マスタープランは、県による広域行政の考え方をまとめたものであり、藤沢市は、湘南都市圏に位置づけられている。藤沢市の都市マスタープランは、それと整合するものであり、それを踏まえた交通マスについても、連携・整合性が取れていると考えている。
- ・ 3つの拠点を対象としていたのを藤沢駅に絞ったのは、まず、3拠点でカバーされている範囲が既に 100%に近かったということがある。そのため、既にある程度達成されていると考えられ、目標として定めることは適切ではないと判断した。
- ・ また、同じ都市拠点とはいえ、市の中心は藤沢駅周辺であり、そこに到達できるかどうかは重要ではないかと考え、藤沢駅 30 分圏を目標として定めた。藤沢駅に行きやすいということは他の拠点にも行きやすいと考えることもできる。

**【会長】**

- ・ 交通マスと都市交通戦略の整合性はもちろんとらなければならないが、その他の関連計画との調整は、どのように考えているか。

**【事務局】**

- ・ 庁内の関係部署と、適宜連携を図っていくことを考えている。

**【会長】**

- ・ 交通に関する用語では無いが、用語集に各関連計画や関係部署・主体等について、整理できると分かりやすいかもしれない。

## (2) 自転車検討会の報告について

### 【事務局】資料説明

#### 【F委員】

- ・ P.12（資料 2-2）において、「現道あり」という表記は、既に自転車専用道があるように見える。車道があるということであれば、そのことを明確にすべきかと思う。
- ・ P.12 や P.13 に記載されている内容は、4，5年以内の解決が目途になるようなものではないか。計画としては2030年を見据えてということだが、もう少し短期で計画の進捗状況を管理していくことはできないか。例えば、3年後の自転車専用道のカラー化率について具体数字を目標として設定するなど、客観的、具体的な評価指標が必要だろう。

#### 【事務局】

- ・ P.12（資料 2-2）などについては、誤解を与えないような表現に修正したい。
- ・ 第5章は、計画における大きな方向性を示す位置づけとしており、第6章に以降に10年程度で実施しようと思っていることを整理している。

#### 【会長】

- ・ 藤沢市では、道路のカラー化のようなことは、現時点で行っているのか。

#### 【事務局】

- ・ 歩道に一部自転車を通ることを示すマークを出した程度であり、色の塗り分けを実施した事例はない。

#### 【F委員】

- ・ もう少し短期的な視点を設けるなどして、例えば3年以内で何を実施するかということを示してほしい。

#### 【会長】

- ・ サイクルプランは、都市交通戦略とはどのような関係、位置づけになるか。

#### 【事務局】

- ・ サイクルプランのハード的な部分は都市交通戦略内に位置づけていくことになると考えている。ただし、現時点では、ソフト的な施策を位置づけることは想定していない。

#### 【会長】

- ・ 駐輪場について確認したい。資料 2-1 の P.20 にある放置自転車と駅周辺の駐輪場の収容台数は、商業施設の駐輪場も含まれた値か。

#### 【事務局】

- ・ 商業施設の駐輪場については、含まれていないデータである。

#### 【会長】

- ・ 商業施設の駐輪場の扱いも重要になるだろう。通勤・通学に対する施策と買い物行動に関する施策は、別々に考える必要があるだろう。

**【会長】**

- ・資料 2-1 の P.63 にあるように、辻堂駅の駐輪場に対する需要はあると思うが、茅ヶ崎市からの利用者も多いのではないかと。藤沢市として自転車の計画を行ってはいるが、隣接市町村との調整は行っているのか。

**【事務局】**

- ・ご指摘の通り、茅ヶ崎市からの利用が多く、連携していく必要があるため、意見交換は行っている。
- ・茅ヶ崎市では、自転車プランを策定しているが、ネットワーク計画については、検討中であると聞いている。

## 2. その他

**【会長】**

- ・今後パブコメも行っていくということだが、これからのスケジュールとしてはどのようなになっているのか。

**【事務局】**

- ・まず、12月に市議会があり、その手続きが11月1日から始まる。次に12月末から1月にかけて地域別の説明会の実施を考えている。パブコメは、交通マスと藤沢サイクルプランの両方について、1月に実施する予定である。
- ・市議会やパブコメでの修正意見を踏まえ、資料を修正し、3月の協議会で最終的な確認をしていただきたいと考えている。自転車検討会については3月の協議会前に実施予定である。最終的に議会へ報告するのは6月になるかと思う。

**【会長】**

- ・議会の説明は具体的にはどの資料を用いて行うのか。

**【事務局】**

- ・基本的には概要版で説明し、本編を添付資料とすることを考えている。

**【会長】**

- ・資料の内容については、本日も様々なご意見いただいたが、座長と事務局側で対応について検討させていただきたい。特に目標像への対応がポイントになるだろう。
- ・3月の協議会では、計画の成案として確認いただくとともに、来年度以降、どのように動いていくか、他部署と連携を図っていくかということを示し、ご意見をうかがうことにしたい。

**【事務局】**

- ・次回協議会は3月26日（水）13：30から、会場は市民会館1階を予定している。
- ・今回は、資料も多いため、後ほど何かご意見があるようであれば、事務局までご連絡いただければと思う。メール、ファックス、電話等何でもかまわない。議会の関係がある

ため、10月31日までをお願いしたい。

- 配布資料は修正箇所を対応後、議事録とともに公開することを予定している。発言者はアルファベットに変換し、都市計画課及び市民情報総合センターで閲覧できるようにする。

以上